

ICT活用工事の市町普及に向けた国と連携した取組の実施結果について

1 要旨・目的

「広島デジフラ構想」の取組の1つであるICT活用工事の市町への普及に向け、国土交通省中国地方整備局（以下、「国」という。）と連携し、東広島市の建設事業者を対象とした現場講習会を開催したので、その結果を報告する。

2 現場講習会「『初めての一步』ICT体験セミナーin 東広島」の実施概要

(1) 実施主体

広島県 i-Construction 推進連絡会（国、広島県、県内全市町等により構成）

(2) 実施日・場所・受講者数

実施日	場所	受講者（計 22 社 34 名）
令和6年11月14日（木）13:00～16:50	東広島市河内町入野地先	13 社 18 名
令和6年11月15日（金）13:00～16:50※		9 社 16 名

※当初11月14日（定員20名）の予定であったが、応募多数となったため11月15日に追加開催した。

(3) 受講対象者

東広島市の入札参加資格を有し、かつ、市内に本店又は営業所を有する建設事業者のうち、ICT活用技術の現場導入未経験者

(4) 内容

市町発注工事を受注する建設事業者に向け、中小企業の成功体験の紹介や、現場作業を省人化できるICT測量機器（自動追尾トータルステーション）の活用説明や操作体験、エクセルを使った3次元データ作成体験など、ICT活用工事に取り組むための動機付けや、導入にあたっての心理的ハードルを下げることを目的とした内容について講習した。

3 受講者アンケートにおける主な意見や感想

項目	受講者の主な意見・感想
講習会について	- 参加者全員が講習内容は現場で役に立つと回答 - 参加者のほぼ全員がICT技術が作業効率化に繋がることを実感し、同レベルの講習会が今後も必要であると回答
ICT技術の導入における課題認識	- ICT測量機器等の導入コストが掛かる - ICTに関する知識（技術力）が不足している
自由意見	- より実用的、実践的（現場に近い形）な講習会の開催を希望 - 今回の講習でICTが身近になった - ICT技術の導入についてのデメリットも知りたい

4 その他

受講者アンケートは概ね肯定的な意見であったが、今後もICT活用工事の未経験者に対し、実施しない要因や課題、支援についてのニーズなどを調査・把握したうえで、引き続き、国と連携したICT活用工事の市町普及に向けた支援を進め、県内の建設産業全体の生産性向上に取り組む。

3次元データ作成体験



中小企業の成功体験紹介



ICT 建設機械の操縦体験



ICT 測量機器の活用説明及び操作体験

